

# 静かなる祈りの旅へ

## 26日まで平山郁夫版画展

日本画家平山郁夫(1930~2009年)のチャリティー作品展「シルクロード 仏教伝来 平和の祈り 平山郁夫版画展」は23日、一関市大手町の一関文化センターで始まった。生誕90年記念として「平和への祈り」をテーマに、日本文化の源流を求めてシルクロードを歩き仏教伝来の道を訪ねた平山の業績を振り返っている。26日まで。

全国でチャリティー 絵画展を開催している「ほるぶエアアンドアイ」(大阪府枚方市)が主催。

会場には29歳の時に描いた出世作「仏教伝来」、シルクロードの砂漠を旅するラクダの隊商を描いた「パルミラ遺跡に行く」など版画や工芸画約40点が並ぶ。

来場した40代女性(同市萩荘)は「実物を見ると色合いが違って良い。深みがある」と話し、ほるぶエアアンドアイの市原清人代表取締役は「新型コロナウイルスでうつうつとした中、平山先生の作品を見て心安らぐ世界に浸っていたきたい」と語っている。

会場では同時代に活躍した東山魁夷ら、他の画家や書家の作品約30点も併せて展示している。

入場無料だが、絵はがきや図録など作品購入を受け付けている。益金の一部は日本ユネスコ協会連盟の「東日本大震災子ども支援募金」に寄付される。

時間は午前9時30分〜午後5時30分。問い合わせはほるぶエアアンドアイ072(805)059511へ。



一関文化センターで開かれている平山郁夫版画展